

令和5年度 江戸川区立一之江小学校 学校関係者評価 最終評価報告書

学校教育目標	◎進んで学習する子 ○思いやりのある子 ○明るく元気な子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	①・安全で美しい学校 ・子供を大事にする学校 ・学ぶ喜びを知る学校 ・開かれた学校 ②・主体的に学び正しく判断し行動できる子 ・相手の立場や気持ちを考えて行動できる子 ・健康で活力のある生活を送ることができる子
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>「一之江学び方スタンダード」の徹底を重点目標として全校体制で取り組み、挨拶あふれる学校へ着実に成果を上げた。校内研究ではタブレットの活用を研究課題として取り組み、各教科のねらいをよりよく達成するための授業改善に向けて研鑽に努めた。 <課題>一之江タイムの習熟の時間を活用し、基本的な計算の力は伸びつつある。一方で、思考力・判断力の育成については課題が残っている。江戸川区教育委員会の教育課題推進校の指定を受けながらGIGAスクールの時代に即した指導と評価の一体化をテーマに全校体制で授業改善に努めていく。		

教育委員会重点課題	<取組項目> ・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策	
				取組	成果	評価	コメント		
学力の向上	<学力の向上> ・基礎的・基本的な学力の力の向上を目指す。そのために、全学年で「一之江学び方スタンダード」に基づいた指導を徹底し学びの環境を整える。また、習熟の時間として毎日10分の一之江タイムを実施する。 ・授業では、毎時間、目標提示・振り返りの実施を心がける。 ・GIGAスクールの活用に向けた一人1台端末の効果的な活用及び授業改善（個別的な視点、協働的な視点）を図る。 ・毎日、課題提示（学年×10分+10分）を行い、家庭と連携しながら取り組み、学びの習慣化を促進する。 ・「指導と評価の一体化」をテーマに校内研究に組み込む。全学年で研究授業を実施し、外部講師の指導の下、授業改善を進める。	・「一之江学び方スタンダード」を活用した授業規律 ・「基礎的・基本的な学力の力の向上を目指す。そのために、全学年で「一之江学び方スタンダード」に基づいた指導を徹底し学びの環境を整える。また、習熟の時間として毎日10分の一之江タイムを実施する。」 ・ICTを活用した授業 ・一人1台端末を活用した授業 ・毎日の宿題と提出物の確認 ・「指導と評価の一体化」をテーマとした校内研究 ・ハンドサイン等を活用した学び合いの授業の充実	・「基礎・基本の定着」 ・「学習に意欲的」 ・「指導体制の工夫」 ・「家庭学習の習慣化」 それぞれ肯定的意見80%以上	<学力の向上> ・松江図書館、保護者がランティアの協力による学校図書整備を定期的の実施し児童も毎月振り返りの機会をとった。 ・習熟の時間を確保し、帯時間で一之江タイムを実施。 ・毎日、課題を提示し、習日担任が確認し確認。 ・授業の中でタブレットを活用した学びを工夫して実施。長期休業中や金曜日はドリルパークを課題として実施。 ・校内研究では評価に焦点を当てた研究を推進し外部講師を招聘した研究授業を年6回実施。 ・評価指標の肯定的意見は80%～90%であった。	A	A	A	・先生方がよく頑張っている。 ・「一之江タイム」の充実 ・全国テスト等で学力向上の結果が出ている。 ・具体的なアクションが見えてきてい。 ・一之江タイム継続して子供たちの力を伸ばしてほしい。	・「一之江学び方スタンダード」の一層の徹底 ・「一之江タイム」の充実 ・ICTを効果的に活用した授業改善、一人一台タブレットの毎日の活用 ・毎日の宿題 ・校内研究（指導と評価の一体化）の全教員での推進
学力の向上	<読書の更なる充実> ・年間を通して、本に親しむ機会を確保するとともに、図書室の環境整備や、読書紹介カード等を用いた本の相互紹介等を通して、読者への興味・関心を高める取組を実施する。 ・読書を通じた探究的な学習の実施、充実を図る。そのために、教科や総合的な学習の時間、学習発表会等と関連付けた問題解決学習の充実を図る。	・朝読書の実施 ・読書紹介カードの作成・活用 ・ボランティアの協力による学校図書室の環境整備 ・「本読み隊」による読み聞かせ ・探究的な活動での図書等の活用 ・学習発表会での発表	・「積極的に取り組んでいる」 ・「環境を整えている」 ・「通んで本を読んでいる」 それぞれ肯定的意見70%以上	<読書の更なる充実> ・松江図書館、保護者がランティアの協力による図書室整備を定期的の実施し児童が本に触れる環境を整えた。 ・「本読み隊」による読み聞かせ ・学期に1回読書週間を設け、学校全体でおすすめの本を紹介する取組を実施した。 ・保護者がランティアの「本読み隊」の協力で読み聞かせを定期的の実施した。 ・学習発表会では図書等を活用し調べ学習を通してとれたものを保護者に発表を行った。 ・評価指標の肯定的意見は70%～90%であった。	B	B	B	・本読み隊などの保護者のボランティア活動等がよくできている。 ・好きな本を選ぶ環境を整えてほしい。 ・映画鑑賞から読書につなげてほしい。 ・学校の取組は評価されているが、保護者の協力を得るのが難しい。	・朝読書の充実 ・読書週間の実施 ・読書紹介の取組 ・保護者を巻き込んだ読書の推進 ・調べ学習での活用
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・体力向上の視点に立った体育科の授業改善を図る。そのために、体力テストを活用し、個々の目標設定と振り返りを行う。 ・短縄・長縄や持久走等の取組を通して体力の向上への意識を高める。	・運動的行事の目標設定と振り返り ・「体力テスト」を活用した前回の自分を超える取組	・「体力向上に向けた取組」 肯定的意見80%以上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・体力テストを前年度の自分の記録と比較して目標を定め、自己の向上を目指して取り組んだ。 ・2学期以降は、長縄と持久走の取組を実施予定。 ・評価指標の肯定的意見は80%～90%であった。	A	A	A	・先生方が工夫して取り組んでいると思う。 ・体力テストの目標設定は続けてほしい。 ・コロナ後の在り方を工夫してほしい。	・体育授業における運動量の確保 ・オリパラジーン校の取組の充実 ・持久走の取組 ・短縄の全校取組 ・大谷選手寄贈のグローブを活用した投げ方の習得
共生社会の実現に向けた教育の推進	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンレックジウムへの活用促進 ・副都交、交流及び共同学習の実施・充実	・色覚チャートの活用 ・児童の特性を留意した教室環境の整備 ・毎月の特別支援委員会の実施 ・スクールカウンセラーによる児童、保護者相談 ・教育委員会、児童相談所等、関係機関との連携 ・オリパラジーン教育の推進 ・パラスポーツへの理解促進	・「学校が楽しい」 ・「先生に相談しやすい」 ・「健康・安全に配慮した教育」 それぞれ肯定的意見80%以上	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインに配慮した教室環境の充実。 ・東京都教育委員会のオリビックパラオリビックカレンダー推進校としての取組を継続して推進した。 ・巡回指導教員として、毎月の特別支援委員会を実施した。 ・評価指標の肯定的意見は80%以上であった。	A	A	A	・児童への配慮がされていると感じる。 ・今後いじめへの迅速な対応をお願いしたい。 ・パラスポーツへの取組は良いと思う。 ・学校サポート会議の実施	・組織的対応の充実 ・巡回教員、保護者との連携促進。 ・SSW、児童相談所との連携促進 ・学校サポート会議の実施
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・「一之江学び方スタンダード」を活用した授業規律の徹底 ・不登校対策の実施・充実 ・ふれあい月間では担任と児童が直接面談する機会を設け、教育相談の実施を図る。 ・hyaper-QUの活用 ・生活習慣改善を目指し、アンケート等を活用した家庭との連携を推進していく。 ・給食指導を中心に食に対する理解や栄養バランスについて考えるなど食育の一層の充実を図る ・GIGAスクールの時代に向けた情報モラル教育の充実を図る ・登校指導を通して安全への意識を高める。 ・健康診断等と関連付けて健康教育の充実を図る。	・「一之江学び方スタンダード」を活用した授業規律 ・毎週の連絡会 ・毎月のいじめ対策委員会 ・スクールカウンセラーによる児童、保護者相談 ・教育委員会、児童相談所等、関係機関との連携 ・挨拶指導の徹底 ・担任と児童との個別面談の実施 ・教室の迎入れ ・SC、SSWの活用 ・朝寝・早起き・朝ごはんの週間の実施 ・食育の授業、「給食室からのお手紙」の毎月発行 ・情報モラル教育の推進 ・児童主体による、いじめ防止の取組 ・養護教諭による保健指導の実施	・「学校の決まりを守る」 ・「学習規律の定着」 ・「通んで挨拶」 ・「学校が楽しい」 ・「いじめに対する適切な指導」 ・「先生に相談しやすい」 ・「生活習慣の向上」 ・「健康・安全に配慮した教育」 それぞれ肯定的意見80%以上	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・学び方スタンダードの取組を1学期当初から全校体制で実施し、学習規律の向上に結び付いてきた。 ・挨拶については子供たちの意識の上が見られ、気持ちのよい挨拶ができる子供が増えきた。 ・毎朝、担任が子供たち一人ひとりに声をかけ、様子の把握に努め一日の指導を生かした。 ・早寝・早起き・朝ごはんの取組を毎学期取組み生活習慣の向上に努めた。 ・給食は、衛生管理や世界の食事、児童考案の献立など工夫するなど、食に関する興味関心が深まった。 ・毎月のいじめ対策委員会には、スクールカウンセラーも参加し、情報共有と解決策について検討した。 ・SSWとの連携を密に行った。 ・評価指標の肯定的意見は80%以上であった。	A	A	A	・挨拶ができる子供が増えていると感じる。 ・挨拶指導を通して心の豊かさを工夫してほしい。 ・通んで挨拶ができるよう一層の指導を期待する。 ・学校が楽しいという子供をさらに増やしてほしい。	・「一之江学び方スタンダード」の一層の徹底 ・挨拶指導の一層の徹底 ・教室の迎入れの継続 ・情報モラル教育の推進 ・GIGAワークブックとうきょうの活用 ・ファクトチェックを取り入れた授業の実施 ・縦割り班活動の充実 ・早寝早起き阿含ご飯週間の継続 ・SDGsを視点に入れた食育の充実
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<自校の取組の積極的な発信> ・学校ホームページの充実、連絡アプリを活用した迅速な情報発信及び出欠席の電子化、各種の電子化 ・PTAとの情報交換を促すとともに、見守り活動等、様々な視点から子供たちを支えるための連携を深める。 ・学校公開の実施と意見の聴取 ・PTAとの連携、見守り運動の実施 ・学校関係者評価の充実 ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価とするため、年一回、学校評価を実施し、事業改善に努めるとともに、学校の取組の理解促進を図る。 ・各行事実施後には、ICTを効果的に活用した意見収集を行い、意見の集約と改善に努める。	・ホームページの随時更新 ・アプリによる迅速な情報提供 ・出欠席の電子化 ・配布物の電子化の促進 ・オンライン・アンケートの実施と速やかな改善策の提示 ・PTAとの連携、見守り運動の実施	・「ホームページ、メール等の発信」 ・「意見・要望を生かしている」 ・「行事・保護者会等の参加」 それぞれ肯定的意見80%以上	<自校の取組の積極的な発信> ・学校ホームページの随時更新、連絡アプリを活用した迅速な情報発信及び出欠席の電子化、各種の電子化 ・学校ホームページを上手に活用して情報発信ができている。いつも見れてい。 ・本校は伝統的に地域と連携できている。 ・学校ホームページを上手に活用して情報発信ができている。いつも見れてい。 ・評価指標の肯定的意見は80%～90%であった。	A	A	A	・地域やPTAと連携して取組が進められてい。 ・出欠席アプリの一層の活用 ・ホームページの随時更新、一斉メールによる迅速な情報提供 ・オンライン・アンケートの効果的活用 ・学校評価の年一回実施 ・PTAとの連携 ・PTA行事の実施	
特色ある教育の展開	<人と人との関わりを重視した教育> ・異学年による登校班や縦割り班活動を実施するとともに、6年生と1年生の関わり等を大切にした教育を実施する。 ・また、児童会による児童主体の取組や、アサーション等の手法を取り入れ、人とよりよく関わるためのすべを身に付ける教育についても実施している。	・登校班活動 ・縦割り班活動 ・6年生と1年生の関わり	・「学校が楽しい」 肯定的意見80%以上	<人と人との関わりを重視した教育> ・登校班、縦割り班を通して、異学年の交流と関係の深まりにつながることができた。 ・6年生と1年生の関わりは朝のお世話、掃除の手伝い、運動会の感想の交換など工夫して実施した。 ・評価指標の肯定的意見は90%であった。	A	A	A	・引き続き思いやりのある子の育成に努めてほしい。 ・登校班、縦割り班を通して感じる。 ・上級生と下級生の仲が良い。	・防災教育の取組の充実 ・オリパラジーン校の取組の充実 ・登校班活動の充実 ・縦割り班活動の充実 ・次年度のスクールバスの対応